

Alute

室内アルミ手摺 アルテ



Alute

吹抜手摺



量産を前提として設計された建材に付きまとう

あと一歩及ばない細部の納まり、どこか余計な要素、謎の存在感。

それらを極限まで取り除くことを目指した室内手摺、それが Alute です。

ノイズを抑えた笠木と支柱の納まり、一本のラインに見える中棧など、

あくまで一本の丁寧な線であることにこだわりました。

笠木や中棧は現場調整が容易な自在機構でありながらも、

造作手摺のような佇まいが Alute には宿っています。



笠木



中棧



足元



壁フレドメ



支柱フレドメ

Alute 階段手摺

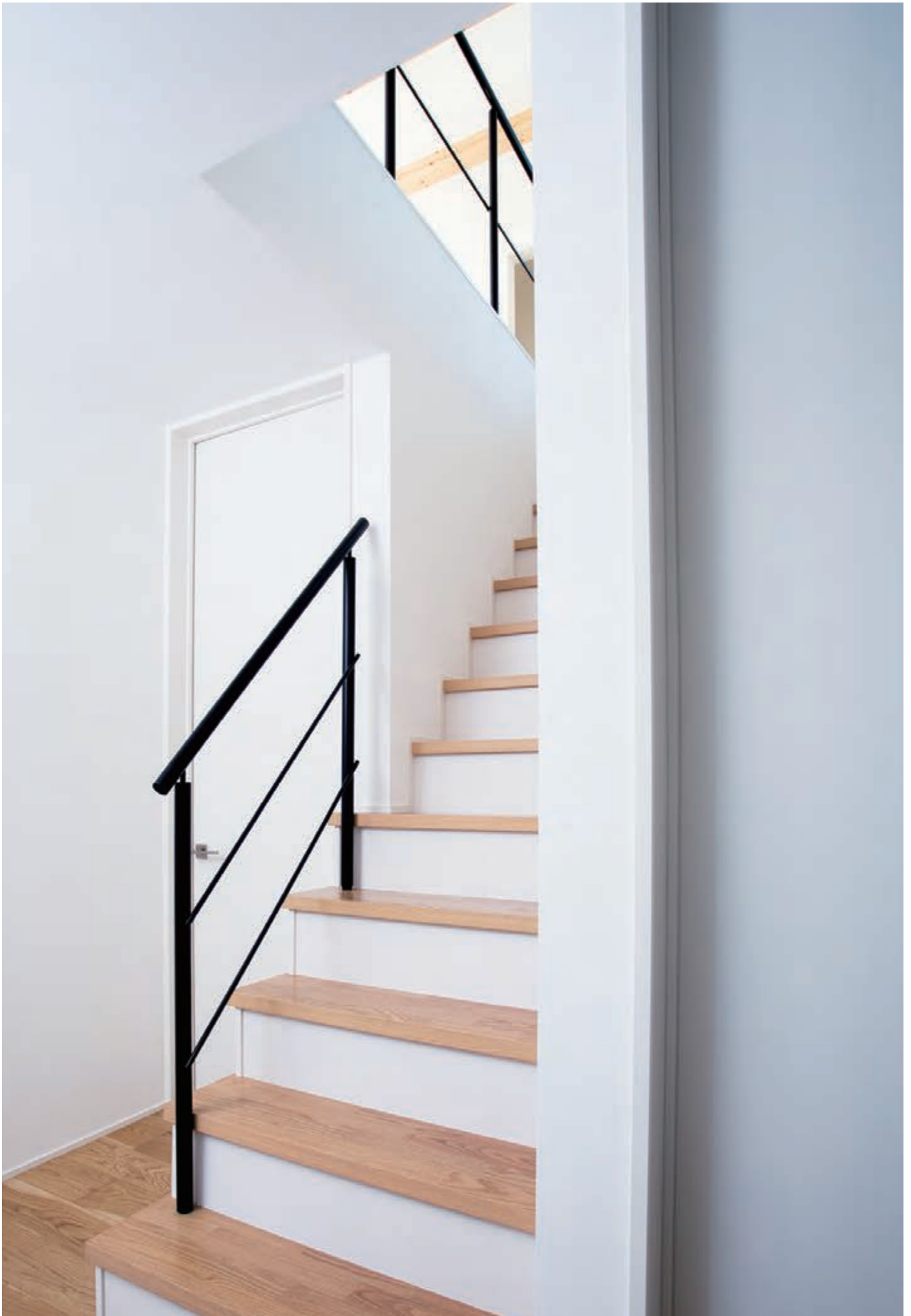


笠木、支柱、中棧、そのまっすぐな線を邪魔しないよう、
段鼻、足元の固定方法は極力シンプルに。

足元の透かしは、不陸を吸収し現場の組み立てをサポートする施工性と、
支柱が軽やかに踏板に乗るような印象を与える意匠性、
その両方を兼ね備えます。

視覚的要素がむやみに多くなる宿命を負う
量産前提のディティールを、改めて分解、再構築しました。

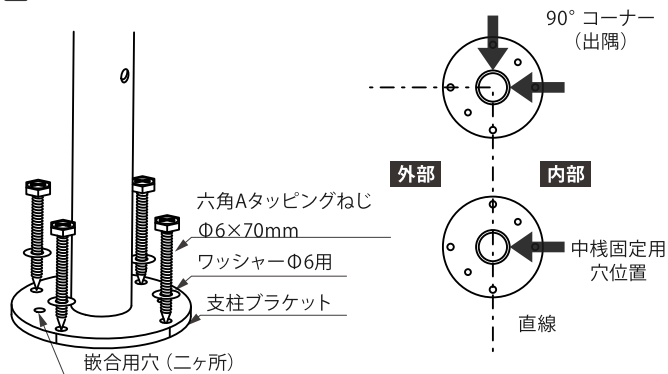
量産品でありながら、造作手摺を彷彿とさせる存在感を Alute は放ちます。



Alute 吹抜手摺

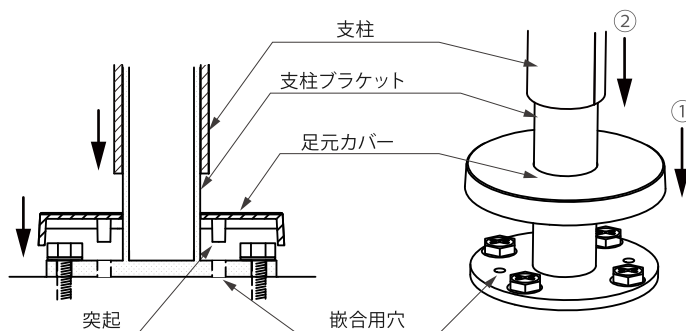
1. 支柱ブラケットの固定

- ①支柱ブラケットを、六角Aタッピングねじ $\Phi 6 \times 70\text{mm}$ で固定してください。
- ⚠ 支柱ブラケットのパイプに開いた中棧固定用の穴の向きに注意してください。
- ⚠ 必ず床材（フローリング等）の下地に固定してください。
- ⚠ 足元カバー嵌合用穴に固定しないよう注意してください。



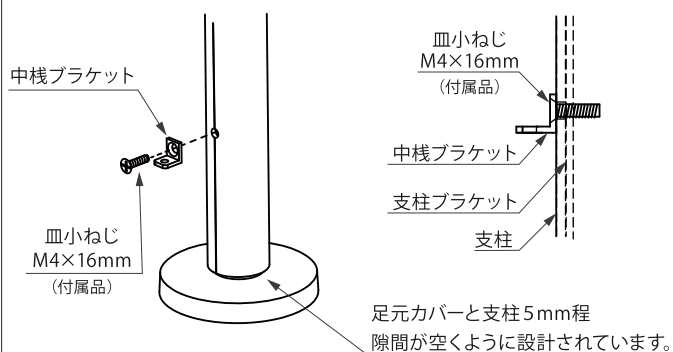
2. 足元カバーと支柱を被せる

- ①支柱ブラケットに足元カバーを差し込み、足元カバー内側の突起を、支柱ブラケットの嵌合用穴に差し込んでください。
- ②足元カバーを装着後、支柱ブラケットに支柱を差し込んでください。



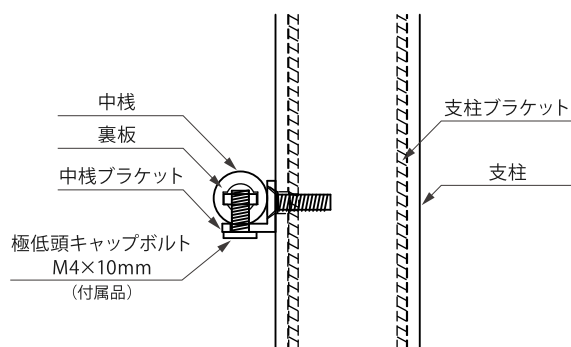
3. 中棧ブラケットの取り付け

- ①支柱と支柱ブラケットの穴位置を揃え、皿小ねじ $M4 \times 16\text{mm}$ で中棧ブラケットを固定してください。

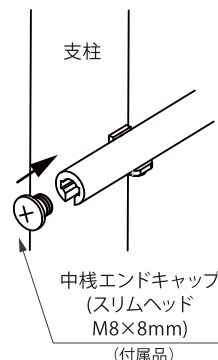
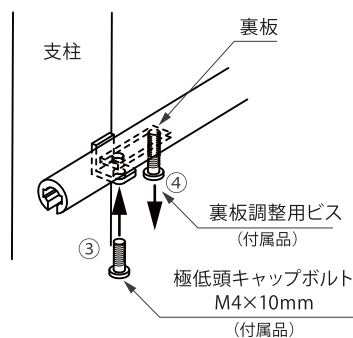
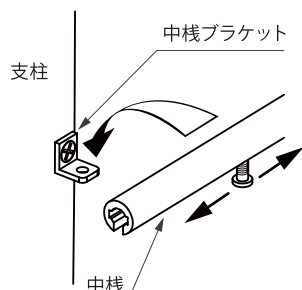
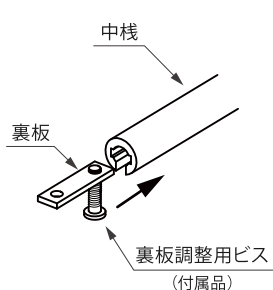


4. 中棧の取り付け

中棧の納まり

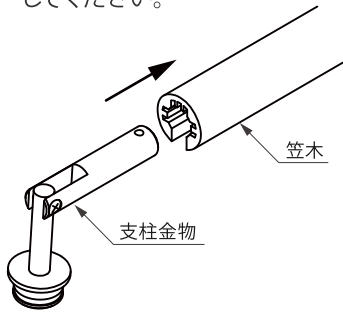


- ①裏板調整用ビスを装着した裏板を中棧に差し込んでください。
- ②支柱に取り付けた中棧ブラケットに中棧を乗せ、裏板とブラケットの穴位置を合わせてください。
- ③極低頭キャップボルト $M4 \times 10\text{mm}$ で
- ④裏板調整用ビスを外してください。
- ⑤中棧の両端を、ブラケットと裏板を固定してください。中棧エンドキャップでフタをしてください。

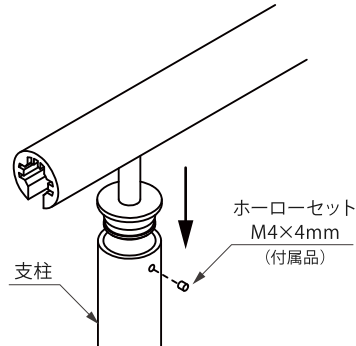


5. 笠木の取り付け

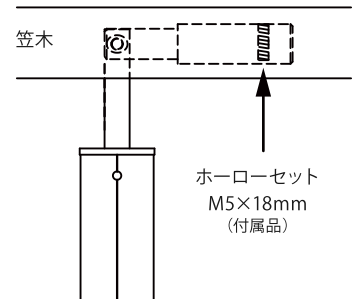
① 笠木に支柱金物を差し込んでください。
支柱金物が笠木の中でその他の部材と干渉しないよう、差し込む向きに注意してください。



② 支柱金物を支柱に差し込み、
ホーローセットM4×4mmで
固定してください。

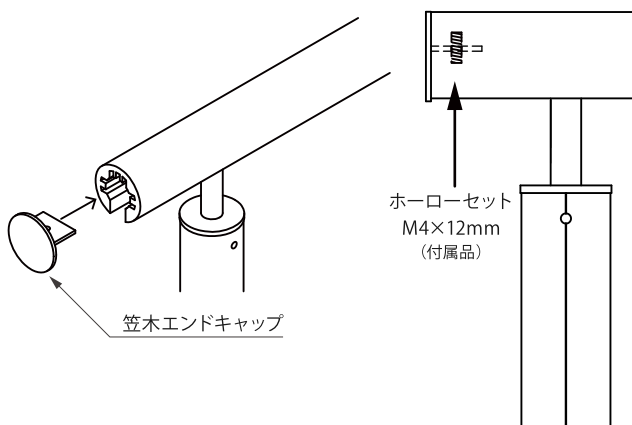


③ 支柱金物をホーローセットM5×18mmで
笠木に固定してください。

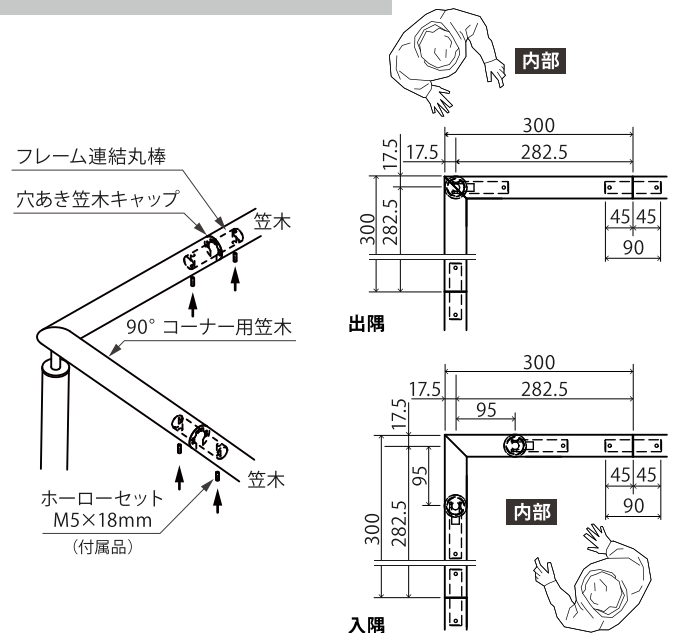


6. エンドキャップの固定

① 笠木の端に笠木エンドキャップを差し込み、
ホーローセットM4×12mmで固定してください。



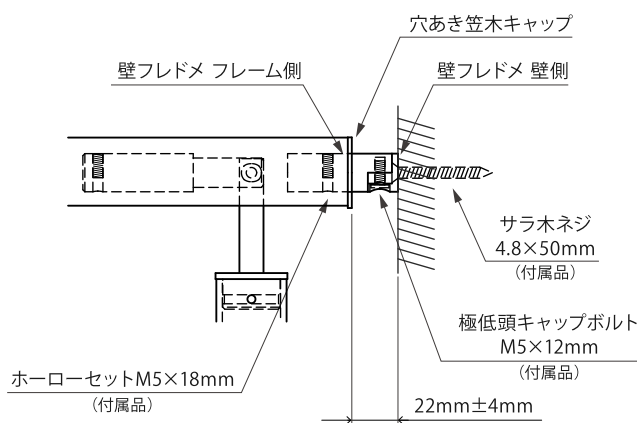
● 90° コーナー笠木の収まり



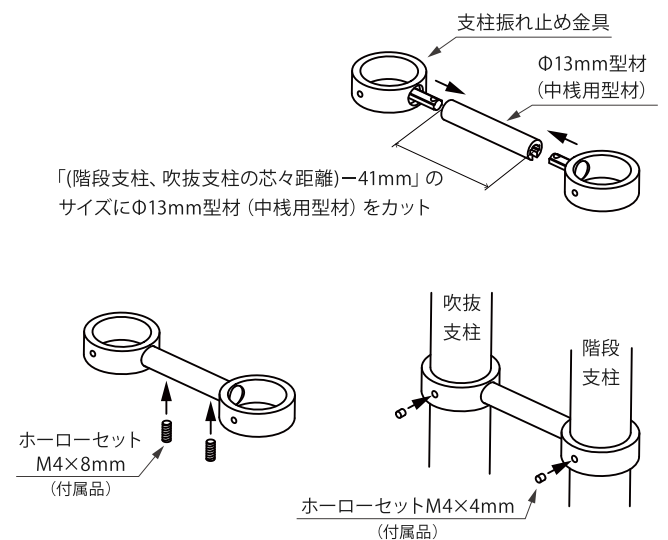
※上記の図は出隅のコーナーです。

● 壁フレドメの収まり

⚠ 笠木の揺れを抑えるために、なるべく壁フレドメをご使用ください。



● 支柱フレドメの収まり



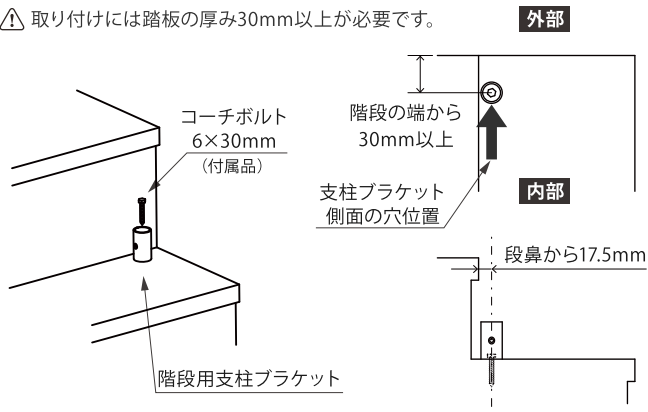
Alute 階段手摺

1. 支柱ブラケットの取り付け

①階段用支柱ブラケットを、コーチボルト6×30mmで
踏板に固定してください。

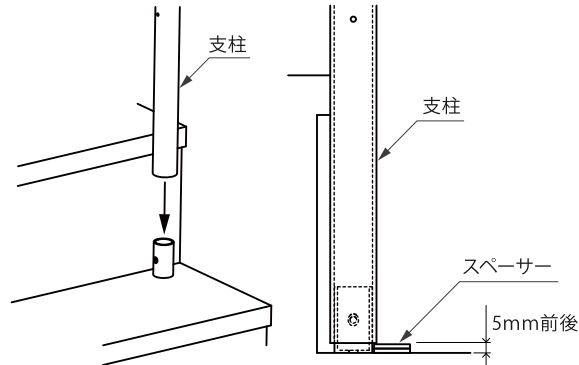
⚠ 階段用支柱ブラケットに開いた支柱固定用の
穴の向きに注意してください。

⚠ 取り付けには踏板の厚み30mm以上が必要です。



2. 仮組み①

①支柱ブラケットに支柱を差し込み、仮組みします。
高さを調整するために、踏板と支柱の間に
スペーサーを挟んでください。(目安5mm前後)

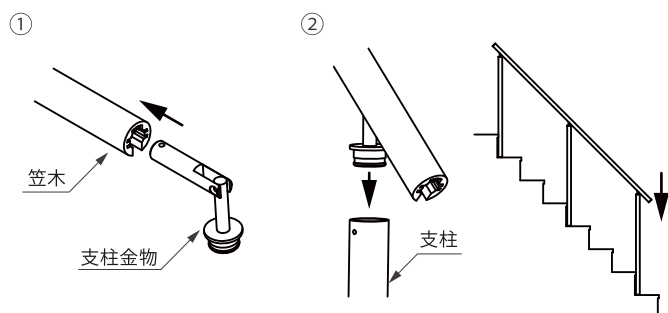


3. 仮組み②

①笠木に支柱金物を差し込んでください。

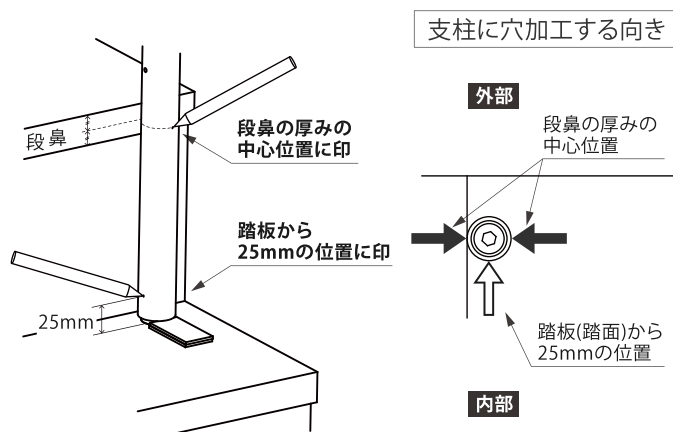
②支柱金物を支柱に差し込んでください。

支柱と支柱金物に隙間ができないよう
スペーサーを使って支柱の高さを調節してください。



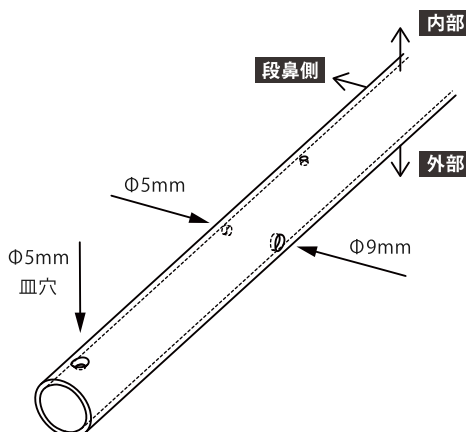
4. 支柱の加工①

①支柱の穴加工する箇所に印を付けます。



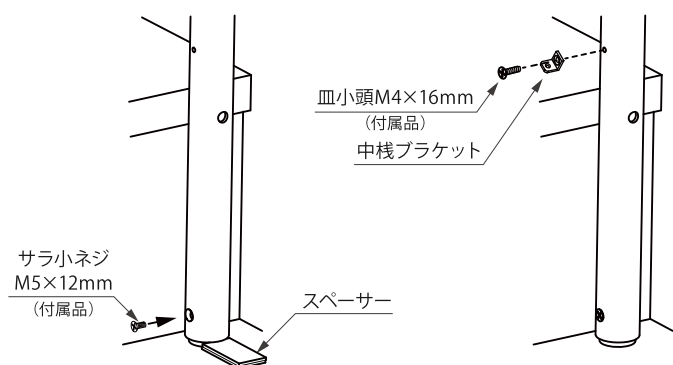
5. 支柱の加工②

①笠木、支柱を一度外し、
支柱の印を付けた箇所に穴をあけてください。



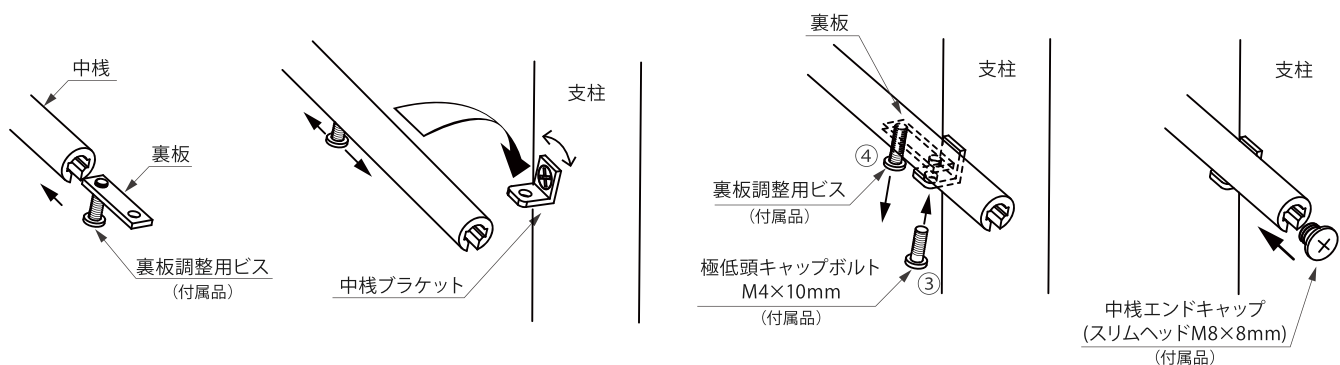
6. 支柱と中棧ブラケットの取り付け

①支柱を支柱ブラケットに差し込み、②中棧ブラケットを、
皿穴加工した箇所を
皿小頭M4×16mmで
固定してください。

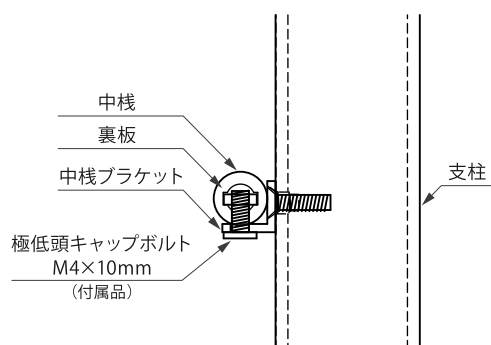


7. 中棧の取り付け

- ①裏板調整用ビスを装着した裏板を中棧に差し込んでください。
- ②支柱に取り付けた中棧ブラケットに中棧を乗せ、裏板とブラケットの穴位置を合わせてください。
- ③極低頭キャップボルトM4×10mmで裏板調整用ビスを外してください。
- ④裏板調整用ビスを外してください。
- ⑤中棧の両端を、ブラケットと裏板を固定してください。中棧エンドキャップでフタをしてください。

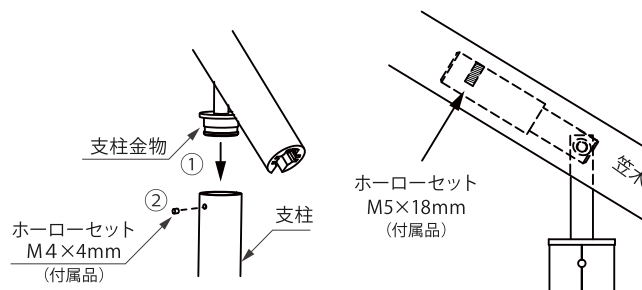


中棧の納まり



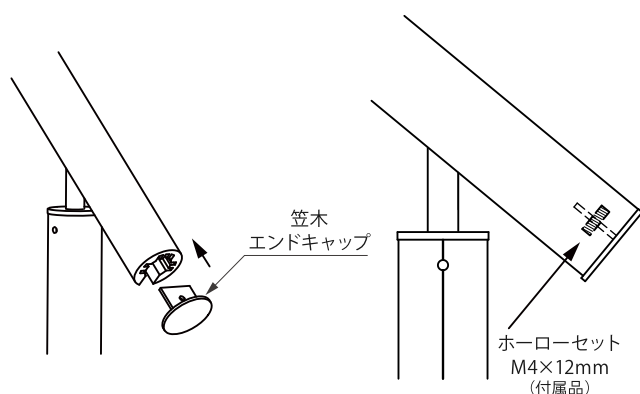
8. 笠木の取り付け

- ①笠木に支柱金物を差し込み、支柱金物を支柱に差し込んでください。
- ②ホーローセットM4×4mmで固定してください。
- ③支柱金物をホーローセットM5×18mmで笠木と固定してください。



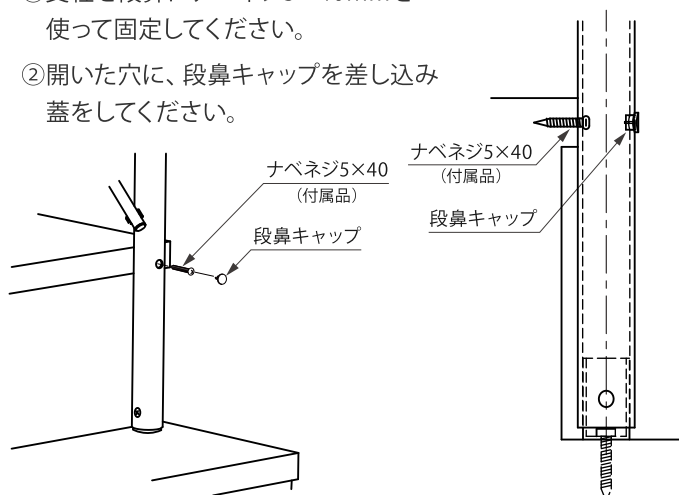
9. エンドキャップの固定

- ①笠木の端に笠木エンドキャップを差し込み、ホーローセットM4×12mmで固定してください。

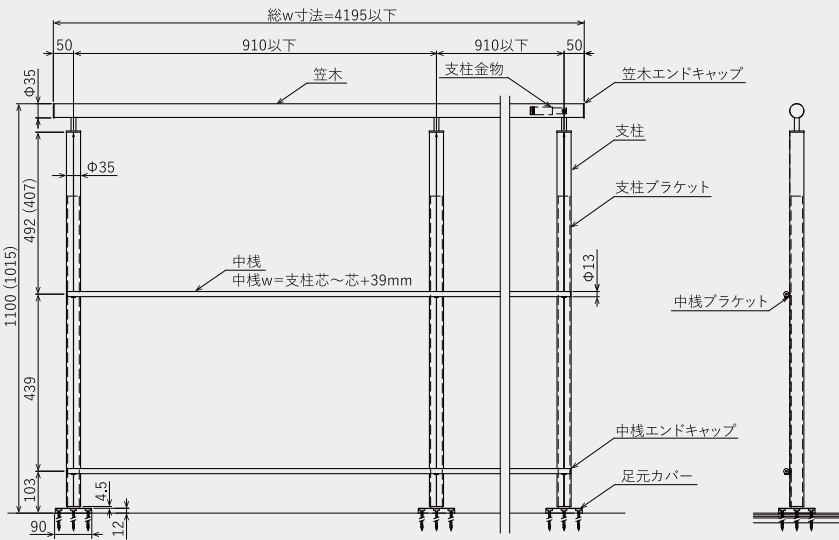
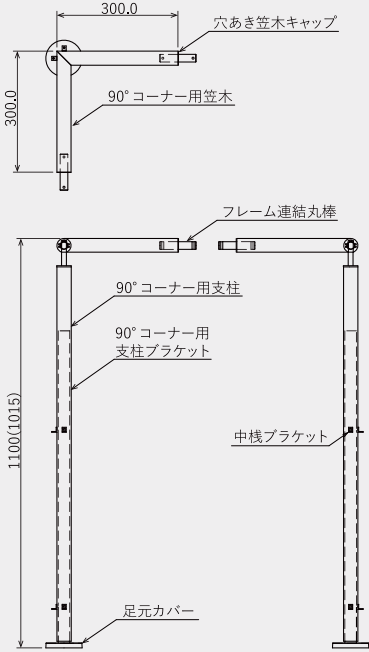



10. 段鼻の固定

- ①支柱を段鼻にナベネジ5×40mmを使って固定してください。
- ②開いた穴に、段鼻キャップを差し込み蓋をしてください。



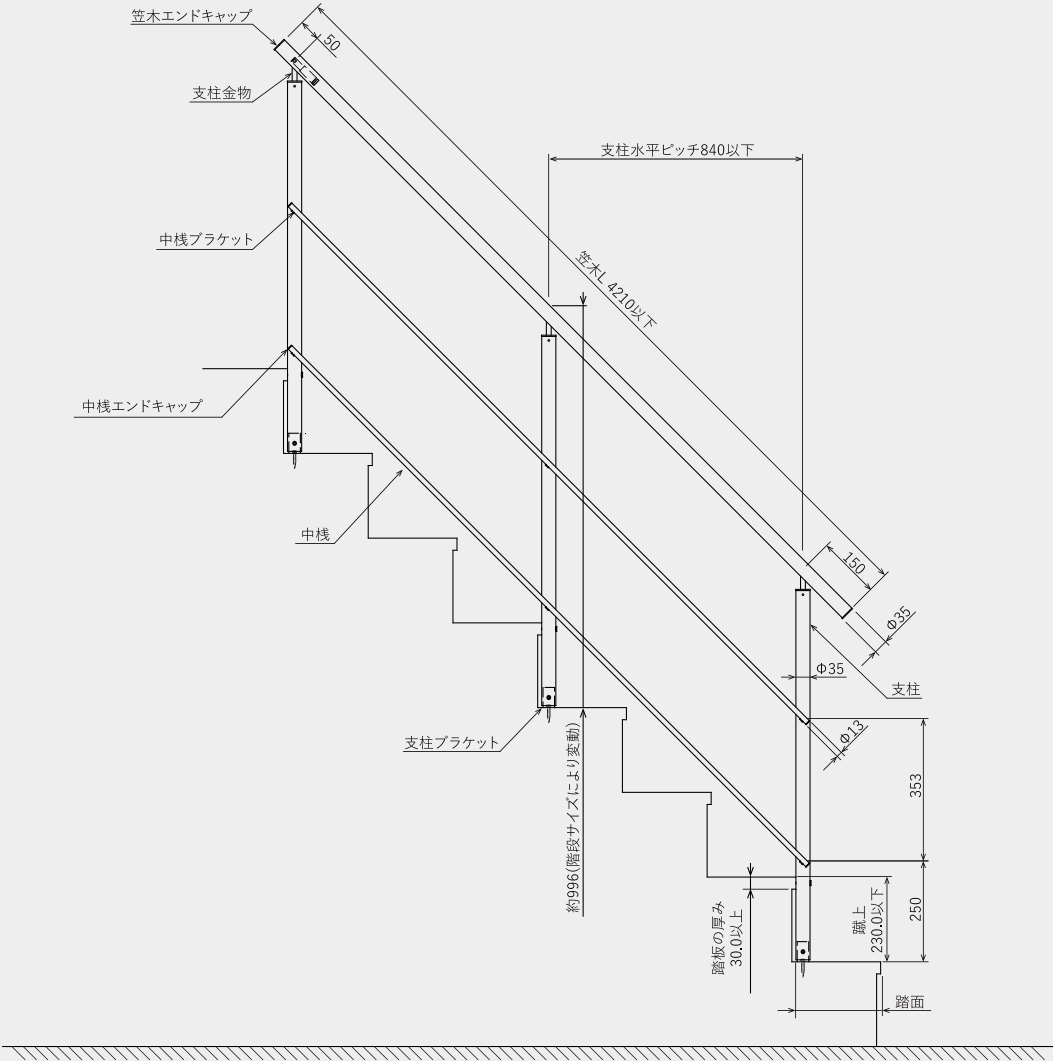



Alute
吹抜手摺

概要 品番	吹抜手摺 H1100：ALU11F-BK H1015：ALU10F-BK	吹抜出隅コーナーセット H1100：ALU311D-BK H1015：ALU310D-BK
寸法・内容		
材質	笠木・支柱・中棧：アルミ押出型材(アルマイト仕上) / 支柱金物 フレーム側：ステンレス切削 / 支柱金物 支柱側：スチール切削(焼付塗装) 支柱ブラケット・中棧ブラケット・中棧固定用裏板・笠木エンドキャップ・笠木ジョイント・穴あき笠木キャップ：スチール(焼付塗装/メッキ加工) 中棧エンドキャップ：ステンレス / 足元カバー：ASA / 90°コーナー用笠木：アルミ押出型材(焼付塗装)	
付属品	六角棒レンチ 2.0mm/2.5mm/3.0mm  ※付属するビス類は取付方法参照	—
備考	※手すりの強度は支柱と笠木によって確保しております。中棧は強度には関係ありません。 中棧は視覚上の安心感を与えるために設置しており、シャープな印象が伝わるように出来るだけ細く製作しています。 登るなど強い力を加えると変形することがございますのでご注意ください。	

吹抜手摺 定価						
笠木 L	支柱 本数	基本セット価格		価格内訳		
		H1100	H1015	笠木 単価	支柱単価	
					H1100	H1015
550	2	70,200	69,200	16,200	27,000	26,500
1010	2	74,800	73,800	20,800		
1465	3	107,200	105,700	26,200		
1920	3	113,500	112,000	32,500		
2235	4	149,100	147,100	41,100		
2830	4	153,300	151,300	45,300		
3285	5	182,900	180,400	47,900		
3740	5	186,000	183,500	51,000		
4195	6	216,200	213,200	54,200		

吹抜出隅コーナーセット 定価						
笠木 L	支柱 本数	基本セット価格		価格内訳		
		H1100	H1015	コーナー 笠木 単価	支柱単価	
					H1100	H1015
300 × 300	1	79,800	79,300	42,100	37,700	37,200

Alute
階段手摺

概要 品番	階段手摺 ALU10K-BK
寸法 ・ 内容	 <p>Technical drawing of the Alute staircase handrail system. The drawing shows a side view of the handrail assembly. Key components and dimensions are labeled: 笠木エンドキャップ (笠木 End Cap), 支柱金物 (支柱 Hardware), 中棧ブラケット (中棧 Bracket), 中棧エンドキャップ (中棧 End Cap), 中棧 (中棧), 支柱ブラケット (支柱 Bracket), 支柱 (支柱), 笠木 L 4210 以下 (笠木 L 4210 or less), 支柱水平ピッチ 840 以下 (支柱 Horizontal Pitch 840 or less), 笠木 L 150 (笠木 L 150), 笠木 Ø 35 (笠木 Ø 35), 支柱 Ø 35 (支柱 Ø 35), 支柱 Ø 13 (支柱 Ø 13), 353 (353), 250 (250), 230.0 以下 (230.0 or less), 30.0 以上 (30.0 or more), 約 996 (階段サイズにより変動) (約 996 (Varies with Staircase Size)), 踏面の厚み (踏面 Thickness), 蹴上 (蹴上), 踏面 (踏面).</p>
材質	笠木・支柱・中棧：アルミ押出型材(アルマイト仕上) / 支柱金物 フレーム側：ステンレス切削 / 支柱金物 支柱側：スチール切削(焼付塗装) 支柱ブラケット・中棧ブラケット・中棧固定用裏板・笠木エンドキャップ：スチール(焼付塗装/メッキ加工) / 中棧エンドキャップ：ステンレス / 段鼻キャップ：ASA
付属品	六角棒レンチ 2.0mm/2.5mm  段鼻固定用穴罫書き治具  アルミ補修ペン  ※付属するビス類、スペーサーは取付方法参照

階段手摺 定価 （踏面210mm蹴上215mmをモデル寸法にしています。）												
段数 (目安)	笠木 L	支柱 本数	基本セット価格	価格内訳			段数 (目安)	笠木 L	支柱 本数	基本セット価格	価格内訳	
				笠木単価	支柱単価						笠木単価	支柱単価
4	810	2	69,500	20,500	24,500		10	2610	3	121,900	48,400	24,500
5	1110	2	72,600	23,600			11	2910	4	148,700	50,700	
6	1410	2	77,700	28,700			12	3210	4	151,000	53,000	
7	1710	3	106,900	33,400			13	3510	4	153,200	55,200	
8	2010	3	114,100	40,600			14	3810	4	155,500	57,500	
9	2310	3	119,600	46,100			15	4110	5	182,300	59,800	

※段数に対する笠木のL寸法は目安になります。踏面寸法、蹴上寸法が変わると、笠木のL寸法、必要な支柱数が変わりますので、笠木のL寸、支柱数についてはオーダーシートを使い、必ずお客様ご自身でご確認頂き、指定してください。

Alute

その他部材

概要 品番	壁フレドメ ALU9W-BK	支柱フレドメ ALU9P-BK	笠木ジョイント ALU3-BK
寸法			
定価	¥15,000/セット	¥19,800/セット	¥6,000/セット
内容	壁フレドメ フレーム側 × 1ヶ 壁フレドメ 壁側 × 1ヶ 穴あき笠木キャップ × 1ヶ サラ木ネジ 4.8 × 50mm × 1本 極低頭キャップボルト 5 × 12mm × 1本 ホーローセット 5 × 18mm × 1本 金属用接着剤 × 1ヶ	支柱フレドメ × 2ヶ Φ 13mm 型材 (中棧用型材) × 1本 ホーローセット 4 × 4mm × 4本 ホーローセット 4 × 8mm × 2本	フレーム連結丸棒 × 1本 ホーローセット 5 × 18mm × 2本 穴あき笠木キャップ × 1ヶ
材質	スチール(焼付塗装/メッキ加工)	アルミニウム(アルマイト/焼付塗装)	スチール(メッキ加工)
備考	笠木を壁面に固定できます。 笠木端部から壁まで 22±4mmの隙間が必要です	階段手摺と吹抜手摺等、Aluteの支柱同士が 隣接する箇所で、支柱同士を接続できます。 Φ 13mm 型材を現場でカットし、使用します。	コーナー笠木使用時等、 笠木を延長する際に使用します。

概要 品番	コーナー笠木 ALU30C-BK	コーナー笠木カット ALU8C-MC	アルミ補修ペン AF10-B
寸法			
定価	¥42,100	¥5,500/ カット	¥1,500/ 本
内容	90° コーナー笠木 × 1ヶ 笠木ジョイント × 2本	-	アルミ補修ペン
材質	アルミ押出型材(焼付塗装)	-	-
備考	入隅コーナー等で、コーナー笠木のみ 購入する際のオプションです。 ※吹抜手摺専用です。	300mm以下のコーナーにコーナー笠木を 使用する際のカットオプションです。 ※吹抜手摺専用です。	黒色の補修ペンです。 設置時に露出した金属の素地を補修できます。 ※階段手摺には予め付属します。

■仕様に関する補足

吹抜手摺

- コーナー笠木と直線部材を組み合わせる場合は、吹抜手摺のW寸法から「-300mm」の笠木を選択してください。
- 吹抜出隅コーナーセットは出隅専用です。入隅部は支柱を2本設置する必要があります。
- コーナー部材を組み合わせる場合には、吹抜手摺の支柱ピッチが910mm以下になるように支柱本数を調整してください。
- 笠木の端部から近接する支柱の芯までのピッチは50mm以下にしてください。
- 壁フレドメを使用する場合の、壁面から支柱芯までのピッチは、最大150mmです。
- 支柱フレドメを使用する場合の支柱と支柱間のピッチは、最大241mmです。

階段手摺

- 段数に対する笠木のL寸法は目安になります。
- 支柱ピッチ（水平寸法）が840mm以下になるように支柱本数を調整してください。
- 支柱は1段目の踏板（2段目の段鼻）から始まる仕様となっています。

■納期について

- ・受注から1週間前後で出荷いたします。

■施工上のご注意

- ＊外部用手摺として使用しないでください。
- ＊組み立て部品・ネジは付属品を使用してください。
- ＊取り付けは必ず専門業者で行ってください。
- ＊本製品はアルミ型材のため、製品の切断にはアルミ用のチップソーをご使用ください。
- ＊切断後に生じた製品のバリにはヤスリを掛けてください。
- ＊笠木のジョイント部に段差が生じないようにしてください。段差が生じると断面が露出し、事故・けが等の原因となります。
- ＊支柱ブラケットは必ず下地に固定してください。
- ＊階段用手摺は、厚み30mm以上の踏板を使用してください。

■使用上のご注意

- ＊製品の破損やケガの原因となりますので、以下の行為は絶対にしないでください。
 - ・手摺にロープ等をかけて、重いものを運搬する。
 - ・手摺以外の用途に使用する。
 - ・手摺の上に乗ったり、身を乗り出す。
 - ・当社指定の付属品以外のものを取り付ける。
- ・分解、改造を行う。

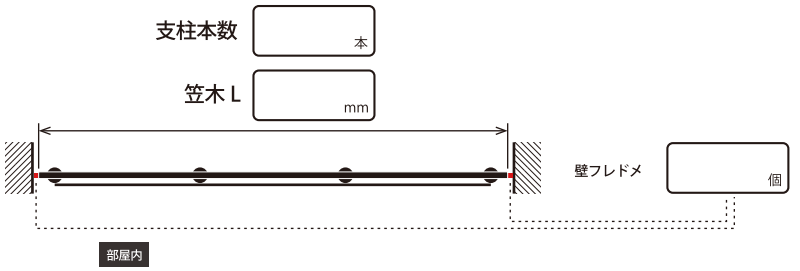
※手摺の強度について

手摺の強度は支柱と笠木によって確保しております。中棧は強度には関係ありません。
中棧は視覚上の安心感を与えるために設置しており、
シャープな印象が伝わるように出来るだけ細く製作しています。
登るなど強い力を加えると変形することがございますのでご注意ください。

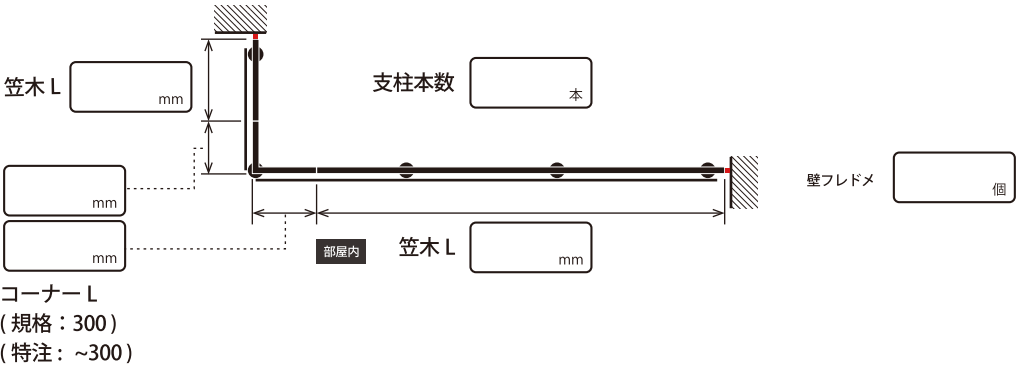
Alute
吹抜手摺オーダーシート

寸法記入表

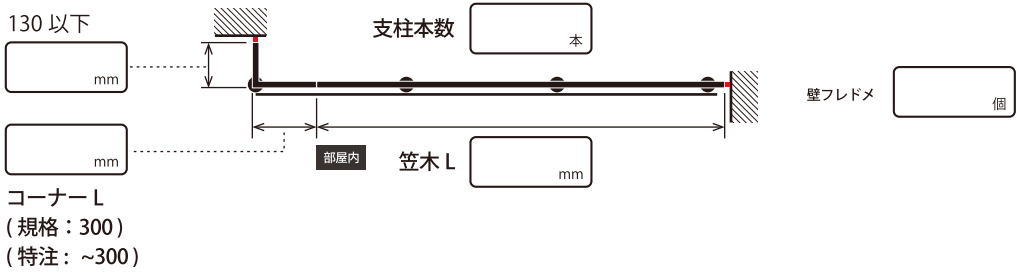
I 型



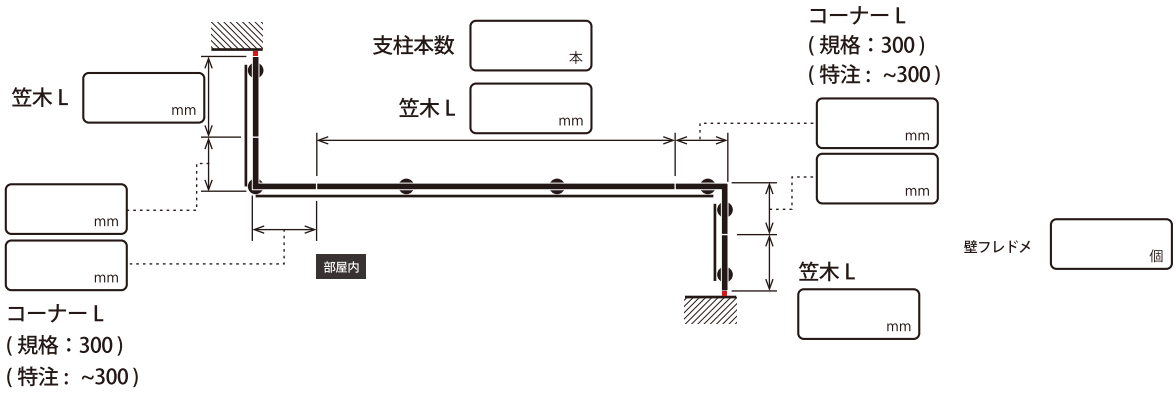
L 型



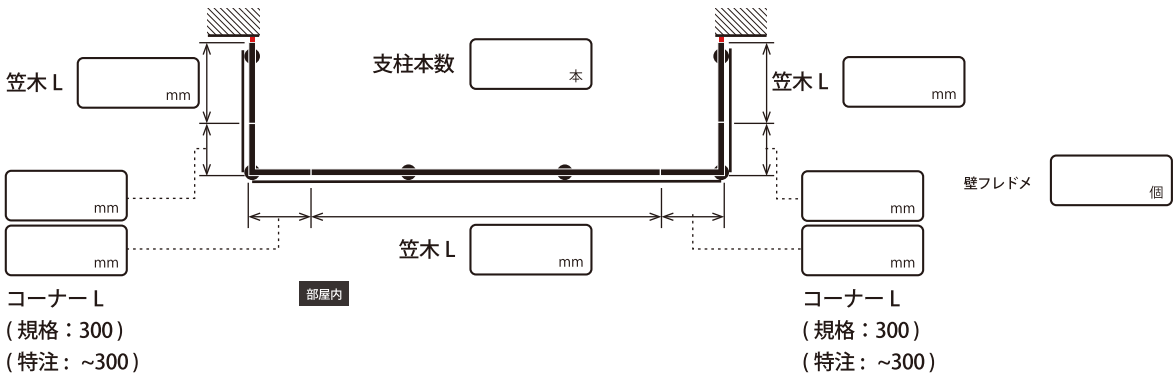
L 型 s



Z 型



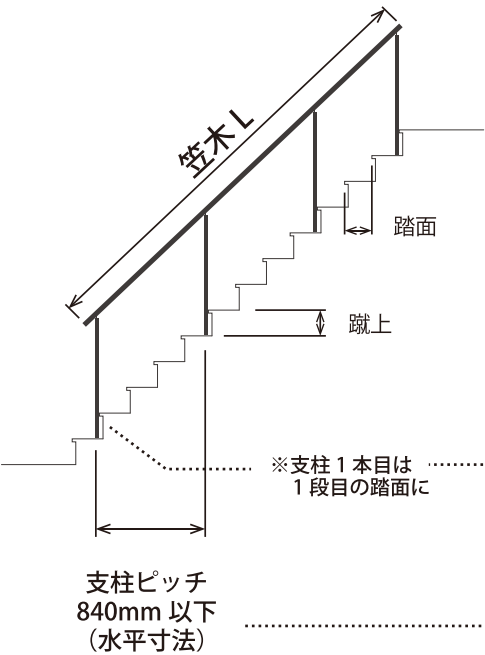
C 型



Alute

階段手摺オーダーシート

寸法記入表



① 笠木L算出に必要な情報

段数

3段目

2段目

1段目

段数 段

踏面 mm

蹴上 mm

② 発注に必要な情報

支柱 本

笠木L mm

※笠木Lが不明の際は、①を必ずご記入ください。

笠木L = $\sqrt{\{ \text{踏面} \times (\text{段数} - 2) \}^2 + \{ \text{蹴上} \times (\text{段数} - 2) \}^2} + 200$

memo

